

2021年
1月号

かんご



ぶ〜
だより

令和3年のスタートです。

今年も看護部は、「一つ屋根の下にいる患者さんを皆で見る」を合言葉に一致団結でがんばりましょう。



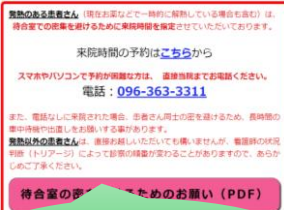
年末年始業務お疲れさまでした。

今年は、コロナ禍で迎える初めての年末年始体制でした。救急外来では「発熱外来ブース」を設けて感染対策を強化して臨みました。また、発熱外来受診者をホームページ上のWebや電話で予約受付を始めたことも新たな取り組みでした。病棟も例年になく、病院で過ごされる患者さんが多かったのですが、各看護単位の連携が取れていました。トラブルなく無事に終わることができた要因の1つには、コロナ禍による制限はあるものの、日頃からの縦横無尽な協働体制の「一つ屋根の下」が発揮された結果だと思えます。寒い中で、事務の方々も外来の最前線に立ってお疲れさまでした。

今後もコロナ禍での診療体制は、残念ながら続くと思われます。気を引き締めて寒さ対策を取りながら、「地域医療センターチーム」で、乗り越えましょう。



夜遅くまで、急ピッチで「発熱外来ブース」を設置してくださった、施工会社の皆様、ありがとうございました。



ホームページ上で「発熱外来」の予約ができます。

寒さ対策の「地域医療センターのロゴ入りブルゾン」活躍しました。

コロナ禍によるかかってよかった戦略 (1月ラウンド評価)

改善された点



入院患者さんが病棟からのお迎え待ちの間、「手指消毒法」や「効果的なマスク装着」についてのDVD放映を開始しました。病室でも観れるように、近く開始予定です。(12チャンネル)



明るくハキハキとしたアナウンスによる注意喚起